

事業名 : 芸術文化観光専門職大学芸術表現ネットワーク事業

団体名 : HIBOCO

1 事業内容

日時 2023.9.14 - 2.26

場所 江原 101(兵庫県豊岡市日高町江原 101)、各文化施設(事業経過欄に記載)

内容 但馬地域の芸術表現活動に付随するトークイベントとワークショップの企画運営

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
9.14	お茶の間トーク 01「地方で生活する」 遊学生×江原 101 住民	江原 101	10 人
9.15	南野詩恵衣装ワークショップ「服じゃないものを着る／ 着せる」 「衣装よろず相談会」	江原 101	17 人
9.16	鈴木貴奈・鈴木謙友 『働くお灸！ 伊オテルミー出張施術会』	江原 101	15 人
9.18	『チケット販売』 熊倉タカアキ×竹内ミズキ	江原 101	19 人
9.20	アフタートーク「家を鳴らす」 ガラージュ+額田大志	江原 101	19 人
9.22	お茶の間トーク 02「地方で演劇をつくる」 サンロク×岩田奎×江原 101 住民	江原 101	17 人
9.23	アフタートーク 渡邊のり子 「【出張版！】とても小さな舞台美術をつくる」	江原 101	10 人
9.24	お茶の間トーク 03「舞台芸術におけるチケット販売に ついて」熊倉敬聡×竹内ミズキ	江原 101	6 人
9.24	お茶の間トーク 04「いまどき、演劇とは」 熊倉敬聡×竹内ミズキ	江原 101	11 人
10.01	江原ツアー	江原駅東口周辺	12 人
11.11	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	城崎地区コミュニティセン ター	10 人
11.26	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	朝来市竹田地区コミュニテ ィセンター	18 人
12.03	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	江原河畔劇場 スタジオ	25 人
1.07	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	弘道地区コミュニティセン ター 多目的ホール	32 人
1.08	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	やぶ市民交流広場 (YB ファブ)	22 人
1.12	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	豊岡市民プラザ	11 人
2.04	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	竹野地区コミュニティセン ター 多目的ホール	6 人
2.10	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	香住文化会館 大会議室	6 人
2.18	たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会	浜坂多目的集会施設 多目的ホール	10 人

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

但馬地域と芸術文化を繋げる役割を担う団体として何ができるのかを話し合い、一年間かけて主に三つの事業を行った。

①芸術文化観光専門職大学の学生劇団が主催する公演の広報をまとめて行うことで、地域の人々がどのような媒体だと情報を得やすいのかを知ることができた。同時に、SNS の運営や広告デザインの作成などのスキルアップにもつながった。

②豊岡演劇祭 2023 では、EBARA_101 と協力して地域に根付いたイベントの企画を行った。地域の人々の直接的な声を聞くことができ、芸術文化への敷居を低くする機会を作れたと考えている。

③但馬旅人生活拠点。とのイベントでは、芸術文化に不慣れな方と談話をする機会を設けた。

劇団がより但馬地域と密接になる、地域に愛してもらえる劇団になるサポートができたと考えている。

(2) 地域への波及

芸術文化観光専門職大学の学生劇団の公演の情報を一定の範囲に止まった客層だけではなく、「演劇には詳しくないが大学には興味がある」「大学生が何をしているのかが気になるがどのように知ればよいかわからない」人たちに広く発信することができた。公式ラインの登録者数は一年未満で 200 人を超え、SNS 利用者は総計で約 500 人になった。学生の公演から演劇や芸術文化に興味を持ったり、観劇をする習慣がついたりして、HIBOCO の活動によって芸術文化の敷居を低くできていると考える。

3 協働の相手方

- ・EBARA_101 (豊岡演劇祭 2023 ミーティングスポットにて協働)
- ・但馬旅人生活拠点。(たじたび★但馬ツアー2023 第3部おはなし会にて協働)

4 今後の課題等

(1) 団体(組織)活動を継続するための工夫等

現在行っている活動の一部を、兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学に所属する学生サークルに委任する。これにより、専門職大生による学びの場を提供するとともに、母団体の負担軽減し、と継続的な活動を目指す。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

将来的には法人格を持ち、特定非営利活動法人 HIBOCO (仮称) として事業を継続させてゆく。私たちの目指す「芸術が身近にある生活文化」は、過疎化する山陰地方において将来的に住民の心豊かな生活とマチの個性を創造する。そのため、今後、但馬各地にある芸術文化施設や行政との連携事業を展開する過程で、連携相手の信頼を得るためには、自主的な任意団体としてではなく、社会的にも認められた公的な団体として活動することが最適であると考え。また、地域住民の方々が参画するハードルを下げると共に芸術文化活動を享受しやすい環境を整えるためにも、NPO 法人の設立と事業継続は必要不可欠である。

次回の豊岡演劇祭に関しては、江原地区を一つのエリアとして定め、誘致する作品から区内イベントまでを HIBOCO が主導となって企画～実行を試みる。



5年9月14日お茶の間トーク 01「地方で生活する」



5年9月22日お茶の間トーク 02「地方で演劇をつくる」



5年11月26日たじたび★但馬ツアー2023 おはなし会



5年12月17日たじたび★但馬ツアー2023 おはなし会